

平成 29 年度 地域ケアプラザ 事業実績評価

施設名	指定管理者名	評価	評価内容
下永谷 地域 ケアプラザ	(社福) 同塵会	A	<p>【地域活動・交流】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の特性をふまえて自主事業参加者の送迎を行ったり、子育て世代に向けて年齢に合わせた情報をメールで提供するなど、地域ケアプラザに来所しやすい環境を整えています。 ●個別支援級と一般級の児童を対象とした余暇支援事業を行い、子どもたちの居場所となるだけでなく障害理解や障がいのあるお子さんの活動機会になっています。また、事業などを通して高齢者だけでなくこども・障がい分野も含めた地域の総合相談窓口であると周知されています。 ●貸館の空き状況をホームページに掲載したり、地域での活躍の場をコーディネートしたりと団体やボランティアが活動しやすいよう支援が行われており、新たな福祉保健活動につながっています。引き続き、地域に寄り添い、相談や活動につながる工夫に取り組んでいただくことを期待しています。
			<p>【生活支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域ケア会議で抽出した課題から、具体的なサービス検討に向けメンバーを選定し、協議体に結び付けることができました。 ●住民支え合いマップの研修会参加者から上がったニーズを踏まえ、今後の検討につなげています。住民支え合いマップを作る目的と作成後の展開を見据え、取り組んでいってください。 ●アンケート調査等引き続き各エリアのニーズ把握・分析の可視化に努めてください。
			<p>【地域包括支援センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相談について情報共有がよくできており、フットワークよく対応しています。社会資源の情報把握が豊富にされており、相談者を地域の活動に積極的につなげました。 ●地域の連絡会で共有した地域のゴミ出しや外出支援の問題を共有し、住民の皆さんどうしの支えあい、地域包括支援センターとの連携強化を進めました。 ●認知症対策のひとつとして、認知症の方と家族を支援するさくら☼カフェでは、情報交換だけでなく、グループホーム入居者と地域住民の交流を企画し、地域の認知症理解につながる取組を展開しました。今後も継続した取り組むをお願いします。 ●日頃からの働きかけによって、地域住民の生活に密着している関係機関との連携がよくとれていることが強みとなっています。今後も、地域の社会資源や生活に密着している事業者、関係者と住民の皆さんとのつながりを深め、支えあいができる具体的なネットワークなるよう期待しています。